

活動紹介!




東久留米ニューハーモニー

東久留米ニューハーモニーはカラオケのサークルです。会館での活動は23年程になります。東久留米市賀陽連盟に所属し、年3回、7月、9月、11月に、市のまろにえホールで他の団体と合同で発表会を行っています。

活動の流れは、前半、全員で課題曲を歌い、後半は、各自の得意な持ち歌を順に歌い、それらをひと月毎に仕上げていきます。



12月の催しから

- 6(土)
 - ・なでしこ幼稚園発表会 
 - ・モハラ ナー フアラニ
フラダンス発表会
- 7(日)
 - ・滋賀ピア / 教室発表会
 - ・南沢シュタイナーコンサート
- 12(金)
 - ・Christmas Concert (打楽器)
- 13(土)
 - ・かわのピア / 教室発表会 
- 14(日)
 - ・鮫島ピア / 教室発表会
 - ・大須賀ひできコンサート
- 16(火)
 - ・高尾音楽教室発表会
- 19(金)
 - ・かたやまピア / 教室発表会
- 20(土)
 - ・小籠バイオリン教室発表会
 - ・Swingin' Paradise コンサート
- 21(日)
 - ・深谷ピア / 教室発表会 
 - ・フラダンスパーティ
- 27(土)
 - ・ぴゅあとーんピア / 教室発表会

※ 12月28(日)から1月6日(火)まで、年末年始は休館です。



会館事務室から



今月の話題 - 寄付文化

「ある福祉施設に今年もまた〇〇万円が入った匿名の封筒が届けられた。」こうした報道をよく見聞きすることがあります。世の中には奇抜な方がいらっしゃるものだと誰もが思います。そう思うのは、日本では寄付行為がまだめずらしいものと思われるのかもしれません。世界に目を向ければ、寄付が当たり前という国がたくさんあります。それには信仰している宗教の影響が多分にあります。例えばキリスト教では、富ある者はそうでない者に分け与えるべきという教えがあります。イスラム教では、喜捨(ザカート)という義務としての寄付(税)があります。日本でも寄付の文化が決してなかったわけではありませんが、相対的にはさほどでもなく、現在に至っています。

しかし、東日本大震災をきっかけに寄付金は増加傾向にあります。また、その手軽さからクラウドファンディングによる寄付も増えてきました。この10年間に寄付総額は約2.5倍となりました。ただ、これには「ふるさと納税」も入っていて、それが総額の約半分も占めているので注意が必要です。それを差し引けば、寄付先進国と比べてまだまだ低いと言えます。

日本に寄付文化が根付いてこなかった理由に、日本では「寄付先への信用度が低い」「自助の精神を重んずる」を挙げる見方があります。確かにそういう向きもあります。しかし、災害時に活躍する多くのボランティアの姿や多くの人々が募金活動に協力する姿を思い起こせば、日本には頼もしい助け合いの精神が根っこにあることが分かります。今後の寄付文化の広がり、高まりに期待したいものです。

